IUU 漁業の脅威と対策

ILLEGAL UNREPORTED UNREGULATED

「違法・無報告・無規制 (IUU) 漁業」（Illegal，Unreported and Unregulated fishing）とは
国家や国際社会により定められている法的な保全管理措置に反して行われる漁業活動のこと

違法漁業

ILLEGAL

国家や漁業管理機関の許可なく
または国内法や国際法に違反して行う漁業

無報告漁業

UNREPORTED

法令や規則に反して無報告
または誤報告された漁業

無規制漁業

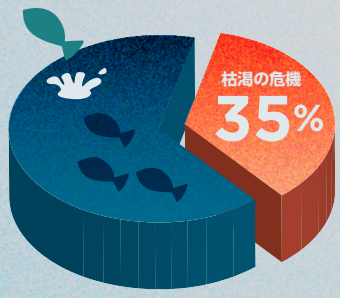
UNREGULATED

無国籍または無加盟などの船舶が規制または
海洋資源保全の国際法に従わずに行う漁業

**IUU 漁業は、持続可能な水産資源管理への脅威であるとともに、
正規の漁業者を不公平な競争にさらすものとして大きな国際問題となっている**

6 匹に 1 匹が、IUU 漁業に由来

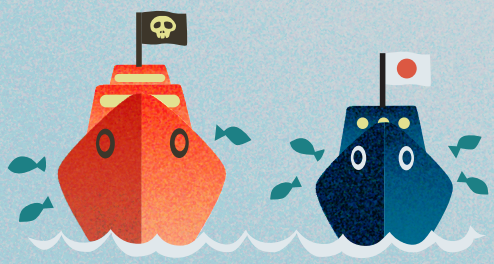
日本で消費されている魚の６匹に１匹が、IUU 漁業に由来している可能性が高い
日本の消費量の約半分が輸入品。輸入品の約３割が IUU の可能性
日本は EU、US に次いで世界第 3 の水産物輸入市場（金額ベース）



35% が枯渇の危機に

世界の水産資源の資源量についてみると、資源量に余裕のある水産資源は年々減っており、持続が難しい（＝枯渇の危機にさらされている）水産資源が 2017 年には全体の約 35%に達している

原因は「乱獲」や「IUU 漁業」など
資源量評価の信頼性及び有効性を損ねてしまう→持続可能な漁業と水産資源の回復の妨げに



IUU 漁業の年間水揚げ額
約 1.6~2.4兆円

日本の年間漁業産出額
約 1.5兆円

年間 1.6 兆円も水揚げ

漁獲量が減るだけでなく、安価な水産資源の流通によって収入の減少に大きな打撃を与える
IUU 漁業は世界で年間 12,600 万トンほどの漁業資源を水揚げしていると推定（国連 FAO）、その金銭的価値を日本円に換算すると 1 兆 600 億円～ 2 兆 4380 億円と推定され、日本の年間漁業産出額とほぼ同等またはそれ以上の規模。（2018 年の国内漁業産出額は 1 兆 5335 億円）

だから…IUU 漁業に対する規制の強化が不可欠

日本と世界の取り組み

EU の取り組み

EU 域内産の水産物のトレーサビリティを強化するとともに、輸入水産物には漁業国の認定を受けた漁獲証明書の添付を義務付けて IUU 水産物の輸入を排除

国内で適切な IUU 漁業対策を行っていないと認められる国をイエローカードに指定して改善措置を協議。改善が認められない場合はレッドカードに指定して水産物の輸入を拒否

EU の IUU 政策は水揚げ・原産地から食卓まで一貫して水産物の流通の過程を追跡できなければならないとの考えのもと動いており、EU の加盟国だけでなく、第三国に対しても適用される

対象魚種 **全魚種が対象**

米国の取り組み

2014 年 IUU 漁業対策に関する大統領タスクフォースを設置

2016 年 12 月に海洋大気庁による水産物輸入監視制度 (SIMP：Seafood Import Monitoring Program) を制定する最終規則を発表

2018 年 1 月より特に危機的だと判断された魚種（計 13 種）を対象に水産物輸入監視制度を施行

対象魚種 **リスクの特に高い 13 種**

日本の国内漁業法関連

いま日本の漁業制度は持続可能な漁業に向けて大きく変わろとしています

改正漁業法

2018 年 12 月、70 年ぶりに成立。2020 年 12 月 1 日施行。管理漁業へシフトしていく

特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律案

2020 年 12 月 4 日　改正漁業法の第二弾で IUU 対策法とも言える、「特定水産動植物等の国内流通の適正化等に関する法律案」が、参議院本会議で可決。今後 2 年間のうちに「漁獲証明制度」と「輸入規制」の施行に向けて詳細設計が議論

対象魚種 **未定（検討中）。リスクを抑えるために対象魚種を広く設けることが求められる**

Anti IUU FORUM JAPAN
IUU 漁業対策フォーラム

info@iuuwatch.jp
https://iuuwatch.jp/
@iuuwatchjp
@AntiIUUForumJAPAN

CAUTION
本書面に置ける全ての文章ならびに画像の著作権は IUU 漁業対策フォーラムに帰属いたします。転載、複製、複写等をご希望の方は画像のデータをお渡しいたしますので、コンタクトフォーム https://iuuwatch.jp/inquiry またはメールアドレス info@iuuwatch.jp までご連絡ください。